

ため池の歴史

- ・水田農業を主体とするわが国では、ほ場の拡大や土木技術の発達とともに農業水利施設を造成し、水源として農業用のため池も数多く築造してきました。
- ・ため池の約70%は江戸時代以前に築造されたもの、もしくは築造年代が不明なものであり、築造に当たっては、各地域において試行錯誤を繰り返して得られた経験的な技術をもとに造られてきたものと推測されます。

□ため池の歴史

狭山池古地図

(西暦616年頃築造 大阪府大阪狭山市)



昔の工事の様子



満濃池の江戸時代の工事の様子

(満濃池地堅之図)



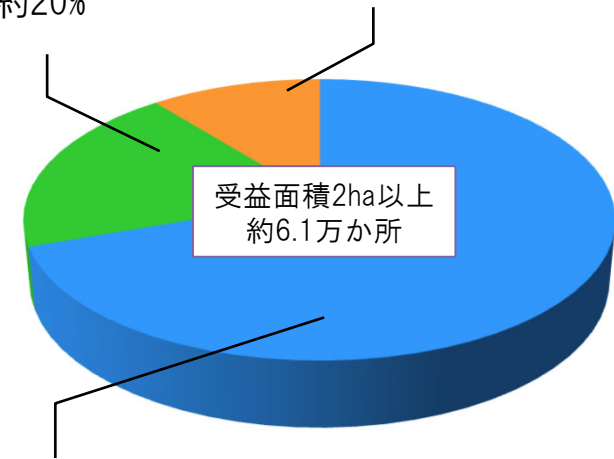
転圧は杵や人の足で踏み固めて盛土したと言われている。

工事に使われた道具



□ため池の築造年代

明治・大正 約20%
昭和以降 約10%



江戸時代以前及び不明 約70%

(防災課調べ 平成28年3月時点)